

1:50,000 地形図 NI-53-14-4  
なら (京都及大阪4号)

地すべり地形分布図 奈良

Landslide Map of NARA



凡 例

**輪郭構造**  
滑落崖と側方崖

新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖

開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖

中・緩斜の流れ壁すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である

後方崖、多重後縁等

**移動体の輪郭・境界**

後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が不明瞭なし判定可能

後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している

ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・雨割域下縁

**内部構造**

二次・小滑落崖、産線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす

サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭

移動体内の小尾根

幅の広い溝状凹地、亀裂

幅の狭い溝状凹地、亀裂

雁行亀裂

線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向

池

水のない窪地

膨張地の前線

**移動方向等**  
移動体の主移動方向

すべり

クリープ(爬行)

流れ・押出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

**その他**

通急線

活断層(地すべりを定位置させている顕著な断層)

地層面等および地理・断裂の走向・傾斜

行政区画

索引図

京都府 1. 城陽市 2. 綴喜郡 3. 相楽郡

奈良県 4. 奈良市 5. 生駒市 6. 添上郡 7. 山辺町

水口 名古里 上野 桜井 名張 (和歌山) (伊勢)

( )内は所属20万分1図の図名

1:50,000 奈良

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平17総機、第141号)」

調査者 清水文健・井口 隆・大八木親夫  
by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI  
LM-423